

もくじ

- ・新年のご挨拶 2
- ・ひとり暮らし高齢者の会「忘年会」について 3
- ・おせち料理配食事業について 3
- ・地域子育てサロンについて 4
- ・地域歳末餅つき交流会について 5
- ・センターたより（本部） 6
- ・2月の予定、司法書士相談
くまびき学園学生募集について 7
- ・寄付金、ひとり1品運動のお礼について 8

おおなん

邑南町社会福祉協議会 広報

Ohnan Council of Social Welfare

社協 vol.147

2017.1.4
January



災害に備えるためには、
「自分の身は自分で守る」という
意識が大切です。
“あしたの笑顔のために”
自分にできることから実行しましょう！

「ひとり暮らし高齢者の会」で忘年会を開催しました!

防災意識を高めるためのミニ講座を実施!

災害が起きた時に、自分を守るために必要な防災用品について紹介し、実際に水だけあれば簡単に作れる非常食「アルファーマ」をみんなで試食しました。

備えておくことで、暮らしの中にまたひとつ「安心」が増えることを学ぶことができました!





新年のご挨拶

社会福祉法人邑南町社会福祉協議会
会長 日野原 哲夫

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成二十九年の初春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、日本各地で多くの自然災害が発生し、中でも熊本地震や鳥取県西部地震、そして気象庁が統計を取り始めて以来初めて東北地方の太平洋側に上陸した台風十号では、岩手県や北海道に大雨による多くの犠牲者や被災者が発生しました。被災されました皆様に御見舞い申し上げます。さて、地域福祉をめぐる情勢は非常に厳しくなっています。

国の予算も厳しく、年金制度、介護保険制度や医療保険制度の改正が行われ、これから高齢者の生活に大きな影響をもたらしてくるのではと思います。

こうした情勢の中、地域福祉推進事業、生活困窮者自立支援制度における生活困窮者支援を通じた地域づくりや就労支援、或いは、社会福祉法人が連携した地域公益活動の推進、そして地域住民の皆様、関係機関・団体の皆様と協働して地域福祉を担ってきました社会福祉協議会の調整力・行動力がこれまで以上に求められると感じています。

また、いわゆる団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年を目途に重度の介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしく最後まで生活し続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築が検討・協議されています。このシステムにより、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域づくりを目指し地域福祉の担い手としての役割を果たすべきと考えております。

社会福祉協議会では、町行政をはじめ、各地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会等、地域福祉を目的とする団体と連携を密にし、課題を共有し、町民の皆様のニーズに応じていくことこそ使命だと思います。

誰もが安心して安らぎのある地域づくり、ふる里づくりを目標に、私たち社会福祉協議会は、役員一丸となって取り組んで参る所存でございます。

町民の皆様の更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今日の絵手紙

協力ボランティアグループ
「高原絵手紙文通サークル」

社協では、ボランティアさんの協力を得て配食サービスのお弁当に月一度、絵手紙を添えてお届けしています。

毎月がきには季節を感じさせる絵と真心が込められた優しいメッセージが添えられています。



交流を楽しみ、暮らしを良くする学びの場 ひとり暮らし高齢者の会「忘年会」

邑南町一人暮らし高齢者の会の『交流・忘年会』を、去る12月2日（金）に開催しました。会場のいこいの村しまねのホールには133名の参加者が一堂に会し、盛大に年忘れの宴が行われました。年間2回行われるこの邑南町全体会は、友人や旧知の方々と交流する良い機会になり、普段は知らない方でもこの会で顔を合わせることで“町内で一人暮らしを頑張っている人がこんなにいる！”と仲間意識の芽生えにつながっているようです。



今回のひとつ目の催しは「防災展示」と題して、災害が発生し避難を迫られたときの備えである“緊急避難用備蓄物品”を紹介し、少量の水で膨らむ非常食の試食を行いました。参加者からは「なんだあ今どこでもある話だ…と思ったけど、聞いたら勉強になった」という声も聞かれました。

メインの余興には川本町から手品師の伊藤さんに来ていただき、奇々怪々なマジックを披露して会場を盛り上げて頂きました。伊藤さんは「定年後の趣味として始めて…」と言いながら次々と旗や花を出していき、参加者を驚かせていました。

邑南町には各地域にひとり暮らしの会（羽須美地域：ほたる会、瑞穂地域：いなほ会、石見地域：さつき会）があり、こちらも年間を通して交流会や日帰り研修旅行などの活動をしています。対象の方で興味がおありでしたら、各地域の世話人さんまたは社協までお問い合わせください。

お問い合わせ先 社会福祉協議会／電話84-0332

地域歳末助け合い事業／邑南町民生児童委員協議会と社会福祉協議会の共催

ひとり暮らし高齢者の方へ おせち料理をお届けしました



12月31日（土）、一人暮らし高齢者の方を対象に、「おせち料理配食事業」を行いました。この事業は、歳末たすけあい募金の配分金を財源に、民生児童委員協議会と社協の共催事業として毎年行っており、今年度は144名の方にお届けしました。

鮮やかな料理にあたたかい絵手紙を添え、民生委員さんがひとりひとりのお宅を訪問し声掛けしながら、一年の締めくくりを見守っていただきました。



サンタさんに大変身!

瑞穂地域
子育てサロン
ドリミツクラヴ

★開催日 毎月第1土曜日
★場所 元気館内
プレイルーム



みんな集まれ!地域子育てサロン

社会福祉協議会では、地域のボランティアの協力を得て毎月一回「子育てサロン」を開催しています。瑞穂地域では「リトミック」が中心で、音楽を聴いて体を動かし表現することで、集中力・表現力・リズム感が身につき、聞く力や想像力を自然に養うことができます。石見地域では絵本の読み語りや手遊び、季節に合った工作をしたり、またお母さんたちがリフレッシュできる小物作りや茶話会など行っています。

子育て中のお父さんお母さん、サロンに出かけてみませんか?

石見地域
子育てサロン
こぐまクラヴ

★開催日 毎月1回(不定期)
★場所 矢上公民館



絵本に釘付け!





井原



高原



阿須那

地域歳末餅つき交流会



矢上

今年も、みなさまからお寄せいただいた「歳末たすけあい募金」を財源として、各地区社協主催で「地域歳末餅つき交流会」が開催されました。この事業は近年の子どもたちを巻き込む事件や事故を地域で未然に防ぐ予防策として、支える側と支えられる側の確認とその関係づくりを目的に行っており、それぞれの地域での世代間交流の場となっています。

また、出来たお餅等は、各地域のひとり暮らし高齢者の方等にも届けられました。



市木



日貫



口羽



田所



日和



中野



出羽

本部たより

社会福祉法人邑南町社会福祉協議会
本部 事務局長 上田 実
邑南町高見485番地1 / TEL84-0332



可愛らしい来訪者、「高原保育園」の園児さんとのふれあい。



11月4日、秋の全国火災予防運動にあわせて、高原保育園の園児等が防火パレードを行いました。園児らは元気いっぱいに高原地域を練り歩き、途中、社会福祉協議会にも足を運び“火の用心”を呼びかけてくれました。デイサービスの利用者の皆さんも可愛らしい園児さんたちの呼びかけに、朗らかな笑顔で応えておられました。

利用者の方と一緒に「防火訓練」を実施しました!

11月25日（金）、介護予防デイサービスの利用者の皆さんと一緒に防火訓練（通報・避難・消火）を実施しました。

当日は、厨房から出火、初期消火に失敗したことを想定して119番通報しました。通信指令室に電話がつかないと消防署の方から「火事ですか」、「救急ですか」、「場所はどこですか」、「何が燃えていますか」などの問いかけに、通報者は慌てずおちついて的確に通報することができました。また、利用者の方にも職員の避難誘導に慌てることなく安全に避難して頂くことができました。



消防署の方から『火災警報器の設置状況』と『作動点検』についてアンケートが実施されました。設置状況は利用者の方・職員共に100%でしたが、作動点検は、利用者の方数名がやっていると答えられた程度で、多くの方が設置後点検を行っていないという状況でした。いつ起きるかわからない災害、大切な命を守るために今後も定期的に訓練を重ね防災意識を高めていきたいと思います。

2月 お知らせカレンダー



2月	行 事	開 催 場 所
1	水	
2	木	社協なんでも相談 社協各サービスセンター
3	金	肝炎・エイズ相談・検査 県央保健所9時半～11時
4	土	瑞穂地域子育てサロン 元気館10時～11時半
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	こころの健康相談 矢上交流センター 13時半～15時半
9	木	社協なんでも相談 社協各サービスセンター
10	金	
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	
14	火	こころの健康相談 県央保健所 13時半～15時半 矢上地域子育てサロン 矢上交流センター 10時～12時
15	水	
16	木	社協なんでも相談 社協各サービスセンター
17	金	肝炎・エイズ相談・検査 県央保健所9時半～11時
18	土	司法書士相談 本部（高原）10時～
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	社協なんでも相談 社協各サービスセンター
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	

各種相談会に関するお問合せ先

※日程等が変更になることもあります。事前の予約が必要です。

こころの健康相談

県央保健所窓口 ☎0854-84-9823

エイズ・肝炎相談・検査

県央保健所窓口 ☎0854-84-9826

司法書士相談会のご案内

予約が必要です

開催日：2月18日(土) 10時～

場 所：社会福祉協議会本部(高見)

相談員：司法書士 日野 稔氏

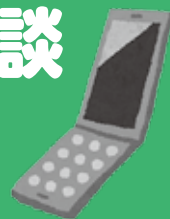
TEL84-0332まで

安心してご相談下さい！

24時間365日、
相談受付いたします。

TEL080-8235-3810

携帯電話による相談です。



平成29年度

シマネスクくにびき学園 西部校 学生募集について

シマネスクくにびき学園では、平成29年度入学生を募集しています。

くにびき学園は「地域の中で役立ちたい」というシニア世代のための学びの場です。幅広い学習活動と仲間づくりを通して、新しい生きがいを見つけませんか。

●修学期間等 2年間（年間40日程度）

●授業料等 入 学 金 10,000円
授業料年額 18,000円ほか

●出願締切 平成29年3月10日（金）

●そ の 他 詳細についてはくにびき学園ホームページをご覧ください。

アドレス：<http://www.fukushi-shimane.or.jp/kunibiki/>

寄付金のお礼

平成28年12月

多くの方から、心温まる寄付金をいただきました。この寄付金につきましては、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉推進事業をはじめとし、地域福祉推進（地区社協への助成等）の組織化及び活動の貴重な財源として活用させていただきます。心よりお礼申し上げます。

香典返し寄付金

〔一般福祉事業へ〕

幸米	市木町	埼玉県(淀原2)	麦尾	大塚(ゆめあいの丘)	三日市2	安田	広島市(小河内)	滋賀県(判場)	竹	土居	広島市(長田市)
服部久男様	山崎亮様	日高直行様	佐々木坂一様	品川尚樹様	三上敏夫様	富永英明様	佐々木真一様	高橋博幸様	藤上修二様	岡崎浩幸様	中井清和様

一般寄付金

下田所隆様	〔奨学資金事業へ〕	中組松浦始様	〔85歳長寿お祝い返しとして〕	川本町因原勢田房行様	下茅場寺本作人様	鹿子原秋田弘昌様	下茅場中野寿晴様	矢上団地米田美佐男様	横谷森原孝文様
-------	-----------	--------	-----------------	------------	----------	----------	----------	------------	---------

**生活困窮者自立支援事業
邑南町地域福祉推進月間の取り組み**

「ひとり1品運動」にご協力ありがとうございました!

「ひとり1品運動」とは
「ひとり1品運動」とは、ご家庭に眠っている食品をご寄贈いただき、生活に困窮している方や福祉施設や団体に無償で提供するボランティア活動のことです。

社会福祉協議会では、地域福祉推進月間に生活困窮者の方への食料支援として「ひとり1品運動」を実施し、町内16名の方より温かい支援物品を頂きました。

社会福祉協議会は、昨年4月より経済的な困りごとや社会的な孤立などさまざまな理由から生活に困窮された方々等の相談窓口「生活困窮者自立相談支援機関」として、相談者のひとりひとりに寄り添いながら自立の促進に向けた支援を行っているところです。今後も支援の輪を地域に広げ、さまざまな理由から生活に困窮されている方に少しでも地域とのつながりを感じていただくことで、早期の経済的・社会的な自立の促進につながればと考えています。

このたび寄贈していただいた食料品等は、社会福祉協議会でお預かりして、生活困窮者の方への支援物資として活用させていただきます。ありがとうございました。

ご寄付をいただいた方々

寄 付 者	寄付物品
矢上/隅川 守	米60キ口
井原/皆井田防除組合	米100キ口
市木/小田弘之・植田利助	米60キ口・素麺
田所/日高 勲	米60キ口
中野/大屋慎二	米180キ口

ご了解を頂いた方のみ掲載しております。(順不同/敬省略)

**平成29年度
奨学生募集!!**

受付期間:平成29年1月11日(水)~2月1日(水)

お問合せ先 **社会福祉協議会**
☎84-0332 ☎050-5207-5434まで